

新型コロナウイルスが広がる中で新学期を迎えるにあたって

～ 2 学期始業式～

夏休みを 10 日間短縮し、8 月 27 日から 2 学期を開始しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、始業式は全校生が体育館に集合せずに、各教室で校内放送をとおして行いました。

【2 学期始業式 学校長式辞から抜粋】

例年以上に厳しい暑さが続く中で、2 学期が始まりました。

依然として新型コロナウイルスの感染が広がっており、テレビのニュースではスポーツ選手やタレントの感染も伝えられています。2 学期の学校生活が始まる今、もう一度「マスク」「手洗い」「換気」などの基本的な感染症対策を各自が確認し、感染の防止に努めましょう。

しかし同時に、たとえ感染防止に努めたとしても、これだけ感染が広がってきている中では、風邪をひいたり、インフルエンザになったりするのと同じで、新型コロナウイルスに私たち一人一人がいつ感染してもおかしくない状況です。新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。また、新型コロナウイルスに感染したと診断される人が身近な人の中から出るかもしれません。

すでに、医療従事者や感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例がいろいろなところで起きています。感染した人が悪いということではありません。感染することは悪いことだという雰囲気が出てしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなくても言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに感染が広がってしまうかもしれません。

こうしたことが起きないように、感染した人や症状のある人を責めるのではなく、感染した人たちが早く治るよう励まし、協力することができる思いやりの気持ちを持つことが大切です。もし万一、自分が感染したり症状があったら、友達にはどうしてほしいかというを考えてみれば、自分がどう行動すべきかがわかるはずです。

今、自分ができる感染予防をしっかりと行いながら、2 学期の学校生活の充実に努めましょう。そのために私が皆さんに期待するのは、「自分にとって必要なことが何かを自分で考えること」、「考えたら即実行すること」、「楽な方に流されてしまう自分をコントロールして継続すること」、「うまくいかない時には誰かに相談すること」です。

三木高校で、有意義な楽しい学校生活を共に送りましょう。

(校長 高橋信之)